



Weekly Report

名古屋中ロータリークラブ

承認/1969年10月13日 例会日/月曜日 12:30
例会場/名古屋観光ホテル 会長/渡邊一平
事務局/中区錦1-19-30 名古屋観光ホテル内
TEL (052) 231-1687 FAX (052) 202-1703
URL: <http://www.nagoyanaka-rc.org>
E-mail: info@nagoyanaka-rc.org

会員増強及び拡大月間

第1942回 例会

2011年8月8日 P.M.0:30~1:30 晴

●司会 (伊藤真人会場委員)

●出席報告 (塩谷和久委員)

会員出席 131名中 103名 出席率 84.43%
前々回修正 出席率 96.64%

スピーカー 北見式賃金研究所 北見昌朗氏

●ロータリーソング (山田 順委員)

「日も風も星も」

●会長挨拶 (田島慶雄副会長)



こんにちは。月に一度くらいはゆっくり食事をしたいという会長のご配慮により、今日は私がお挨拶致します。よろしくお願いいたします。

景気動向は、日本がこけている間にアメリカもドイツもこけてしまっ、先行き真っ暗のようです。しかし、9月頃から、震災復興事業の関連で半年間だけは景気が良い状態が続くそうです。ただ、その先の4月以降は全く分からないというのが現状のようです。

さて、夏真っ盛りの今、木々に囲まれた川辺で、通り過ぎるそよ風と同化しながらうまいビールを飲み、魚を食べるのが一番だと私は思います。私の職業、和洋食材を扱っているビジネスで今一番売れている食材が天然鮎です。天然鮎には海で産卵して川を遡上するもの、そして養殖の稚魚を川へ放流するものという2種類があります。およそ90%が後者で、さらにその70%が琵琶湖産です。しかし、琵琶湖では本当においしい天然鮎は育ちません。苔や藻を食べる鮎の餌が無いからです。大津付近の瀬田川で餌となる苔や藻がわずかにあるのですが、少ないせいか12~13cm程度にしか鮎が育ちません。

それでは、全国的に見て一番おいしい鮎はどこ川で獲れたものか、とよく聞かれます。品評会を開きますと、山の中で稚魚を放流して豊富な苔や藻を食べて育ったからなんでしょうか、郡上八幡の奥に流れている和良川で獲れた鮎が一番に挙げられます。

この川は木曾川につながるのですが、実は木曾川の鮎はあまり美味しくありません。長良川以外の川にはダムがあり、鮎が遡上しない、というのがその理由です。全部放流の鮎なんですね。しかし、業界的に「天然の鮎とは何か」と問われたら、海で産卵して川を上ってきた本当の天然のもの、養殖した稚魚を川へ放流したものも

含めて「川で泳いでいる鮎のこと」となります。これだけを覚えておいて頂いて本日のご挨拶と致します(笑)。ありがとうございました。

●理事会報告 (川島悦雄幹事)

- ①井上文夫君より退会届が提出され、受理されました。
- ②新入会員の入会が承認されました。
- ③浅井忠治君が出席規定免除となりました。
- ④10月プログラムの件、敬老お祝いの件、第1回職場訪問(トヨタホーム訪問予定)の件が可決されました。
- ⑤前年度最終例会の報告がありました。

●幹事報告 (川島悦雄幹事)

- ①本日は本年度上半期の会費納入期限です。よろしくお願いいたします。
- ②お盆期間中、事務局は交代で出勤するため稼働しています。

長寿の祝い



7月28日に喜寿を迎えられた八神弘雄君に、会長よりお祝いの花束が贈られました。

●前年度ニコボックス委員会報告 (小島祐助君)



前年度はニコボックスに多数ご喜投頂き、誠にありがとうございました。ただいまより、特にご喜投の多かった方々へニコニコプライス賞の贈呈式を行います。表彰は高橋直前会長にお願いします。

それではお名前を発表します。足立雄一さん、阿部博さん、杉本仁至さん、松本孝二さん、永野光容さん、小笠原暁さん、近藤直樹さん、鈴木謙一郎さん、以上8名です。お名前を呼ばれた方は前の方へお進み下さい。

●ゴルフ会報告（榊原克典君）

①先月ゴルフ会の総会があり、ご欠席の皆様は資料を袋入れ致しました。

②本年度最初の例会として、9月7日(水)に名古屋ゴルフ倶楽部和合コースにおいて356回ゴルフ会・取切戦を兼ねて開催します。高橋直前会長の素敵なプレゼントを目指して有資格者はぜひご参加下さい。なお、同日午後6時より可ん真にて懇親会を開催致します。併せてご参加下さい。

③多数の皆様はゴルフ会に参加して頂きたいと考え、357回10月6日(木)開催のゴルフコンペ以降のものを記載した予定表を袋入れ致しました。ご確認頂き、ぜひご参加下さい。

④358回三好カントリー倶楽部で行う例会は、11月17日(木)に変更致しましたのでご了承下さい。

名古屋城周りを見てみると、お堀の内の上級武士が暮らしていたエリア、現在愛知県警がある場所に二人の名前が並んでいます。一人は犬山城主の成瀬、もう一人はその家老であった竹越。この二つの家は、幕末の頃は尊皇側（成瀬）と佐幕側（竹越）に分かれ、ずいぶん仲が悪い関係であったようです。中級武士はどのあたりに住んでいたかということ、現在の白壁近辺。そこより南側、現在の広小路の南側が下級武士が暮らしていたエリアです。下級武士の家と言っても、今の御園座の建物が建っている敷地を4軒で分け合うくらい広いもので、随分セブな暮らしぶりだったんだと思います。

まだまだ歴史の流れが見えてくる事実が隠されていますよ。本町を南に下ると、現在ホテルのアイリス愛知があるところにいとウ呉服店、今の松坂屋がありました。さらに南に下って、東西のメインストリート伝馬町通と本町との交差点に札の辻があり、そこで商売をしていたのが大丸呉服店でした。大丸はこの時代に名古屋に進出し、明治時代に撤退した歴史があるのです。お殿様の参勤交代が通る本町にお店があるのは、最高の立地環境だったんですね。

現在、私はこの地図の明治版を作成し、間もなく完成する予定です。江戸から明治への時の流れがわかり、例えば愛知県産業貿易会館は憲兵隊本部になっています。そして、名古屋の中心が広小路と本町が交差するあたりに移っていきます。

ここで地名に少し注目したいと思います。鷹匠町という地名がありました。今のウェスティンナゴヤキャッスルあたり。お殿様の鷹狩りのお伴は城内に住んでいたのです。蒲焼町とは錦通りあたり。蒲焼きを焼く人が住んでいたエリアです。朝日町は錦三丁目、現在名古屋テレビ塔の西側です。明治28年に湖西から名古屋に移ってきた豊田佐吉氏が創業したのがこの地です。

私がなぜ古地図にこだわり続けるかということ、ひとえに楽しく面白いから。しかし、それを眺めながら、実につまらないことをしたなと思うのは町名変更です。例えば、錦三丁目6番地と言われてどこか分かりますか？正解は、先程の佐吉が創業した地なのですが、「佐吉が創業したのは朝日町であった」と説明された方がイメージが広がります。若い人は名古屋の歴史をほとんど知らないというのが現状ですが、その大きな理由は町名を廃止したことなのではないかと思います。町名を調べることはその地の歴史を知ることにつながります。また、私たちのアイデンティティを知り、さらには先人たちの苦勞を知ることでもできると考えています。

これから大変な時代を迎えようとしています。私は歴史研究を続け、楽しみながら歴史から様々なことを学びたいと思っています。本日はご静聴ありがとうございました。

卓 話

古地図を手に城下町を歩く

北見式賃金研究所

所長 北見 昌朗氏



皆さん、こんにちは。本日は私が名古屋の古地図をもとに作成した地図を見ながら、その見方や楽しみ方などをお話して歴史のおもしろさをお伝えしたいと思います。

この地図は、宝暦12年（1762年）江戸中期の名古屋に現在の施設名などを重ねて記しています。この地図をじっくり見ていると、名古屋は城塞都市だとしみじみ思います。名古屋城の北、現在の名城公園あたりは沼になっていて攻撃を受けにくい。お城がしっかり守られていたことがわかります。また、名古屋城の南側に東別院、西別院など大きなお寺が見られます。今の東区にある建中寺もお堀に囲まれたお寺です。これらは尾張藩2代目の徳川光友公が建てたものでした。しかし、光友公が寺社をつくりすぎたことで、財政的に苦しくなっていきます。地図に現れている時代だけでなく、その先が見えてくるのも古地図のおもしろさです。

—例会ご案内—

●次週卓話予定 8月29日(月)

「緊急消防援助隊の東日本大震災支援活動について」

名古屋中消防署

消防第二課長

森本 貢氏